

オニヤンマ

(オニヤンマ科)

Anotogaster sieboldii



わずか3年前に植物園につくられた新しい小川で多数の羽化殻とともに発見されました。短期間でその新しい環境に定着したのでしょうか？

成虫や産卵光景も観察可能です。園内のあずまやで座っていると観察可能で、橋より北側で観察しやすいです。ギンヤンマなど他のトンボ類も同様です。

(動物研究部 清 拓哉)

※発見場所：冷温帯落葉広葉樹林（ブナ林床の小川周辺）
水生植物区

※日時：6月下旬以降

ナナフシモドキ

(ナナフシ科) *Baculum elongatum*



ススキやどんぐりのなる木に付着します。個体数豊富ですので、探せばみつかるかも知れません。

(動物研究部 清 拓哉)

※発見場所：絶滅危惧植物・筑波山の植物

※日時：夏場中

ホソミオツネントンボ

(アオイトトンボ科) *Indolestes peregrinus*

成虫越冬する糸トンボです。春になると体が青くて綺麗な色になります。トラノオ(サクラソウ科)に産卵します。

(動物研究部 清 拓哉)

※発見場所：絶滅危惧植物区

※日時：冬から春

ネクイハムシ類

(ハムシ科ネクイハムシ亜科) *Donacia* spp.

ミクリなどの水草を食草とし、水草が状態よく生育する環境に生息します。ぱっと見は地味ですが、顕微鏡で見るととても綺麗な体を持ちます。

(動物研究部 清 拓哉)

※発見場所：冷温帯落葉広葉樹林 (ブナ林床の小川周辺)
水生植物区

※日時：6月下旬以降